

今年はジャック・オッフェンバック (Jacques Offenbach) 生誕200年です。彼の代表作である『ホフマン物語』(Les Contes d'Hoffmann) のストーリーは一見荒唐無稽な様相を呈していますが内容は実に深く音楽も充実しています。

有名な“人形の歌”や“ホフマンの舟歌”をはじめ、オッフェンバックの音楽は美しくまた娯楽要素と芸術要素の両方を見事に兼ね備えており聴くものを飽きさせません。

詩人ホフマン、彼が恋した3人の個性際立つヒロイン達(歌う人形、瀕死の歌姫、ヴェネツィアの娼婦)、彼を見守るミュース、そして運命を操る3人の悪魔等の魅力的な登場人物が紡ぐ幻想的な3つの物語。これらの物語と現実世界とが入り子状態となり、幻想と現実の世界を行き来します。ホフマンの3つの恋はすべて破れ、観衆や悪魔や恋人本人に嘲笑され哀れに終わります。しかし、我々はそんな哀れなホフマンを愛さずにはいられない。

オッフェンバックによる幻想とエスプリに満ちた色彩豊かな音楽を、日本を代表する実力派オペラ歌手による演奏でお送りいたします。(operanaut 須藤慎吾)



E.T.A. Hoffmann

geb. den 24^{ten} Januar 1776.
gest. den 25^{ten} Junius 1822.



青柳 素晴 Motoharu Aoyagi テノール

国立音楽大学卒業。ベルリン・ハンス・アイスラー音楽大学に留学。「パリアッチ」カニオ、「ジャンニ・スキッキ」のリヌッチョ等を歌い2000年に帰国。「イエヌーファ」ラツァ、「タンホイザー」「オテロ」「パルジファル」のタイトルロール、「魔笛」タミーノ「こうもり」アイゼンシュタイン等に出演。「さまよえるオランダ人」エリック役でドイツ・ハノーファー州立劇場に急遽召集され満員の聴衆を沸かす。「夕鶴」の与ひょうをマケドニアのスコピエ劇場ピトラ劇場に出演。東京都交響楽団、九州交響楽団等、主要なオーケストラとも共演。



天羽 明恵 Akie Amou ソプラノ

東京藝術大学卒業。文化庁派遣芸術家在外研修員としてドイツに留学。五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。ソニア・ノルウェー女王記念第3回国際音楽コンクールに優勝。「ナクソス島のアリアドネ」のツェルピネッタを指揮ティーレマンで欧州デビューし、ドイツを拠点としてジュネーヴ大劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパー等、ヨーロッパ各地の歌劇場や音楽祭のオペラなど数多く出演。日本では、新国立劇場、サントリーホール・ホールオペラなど定期的に登場し、日本の主要なオーケストラの定期公演にもソリストとして出演している。



鳥木 弥生 Yayoi Toriki メゾソプラノ

ロシア、セルヴィア等東欧各地に於けるリサイタルで活動を開始。第1回「E.オプラスツォワ」第42回「ヴェルディの声」等の国際コンクールに入賞入選を重ね、フィレンツェ市立歌劇場公演「ジャンニ・スキッキ」でオペラデビュー。「外套」フルーゴラ、「ジャミレ」タイトルロール、「蝶々夫人」スズキ役などでイタリア各地とバルセロナ等で出演し、現地メディアから高い評価を得ている。国内でも「カルメン」タイトルロール、「カプレーティ家とモンテッキ家」ロメオ等のオペラの他、コンサートでも活躍。2015年「岩城宏之音楽賞」受賞。



小山 陽二郎 Yojiro Oyama テノール

愛知県立芸術大学声楽科卒業、同大学院及び研修生修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。愛知県新進芸術家海外研修費助成を受けてミラノへ留学。プロージ歌曲コンクール、ブタベスト、ドニゼッティ・ロッシーニの声国際コンクールに第2位入賞の他入選多数。愛知県芸術劇場「愛の妙薬」でデビュー、「セヴィリアの理髪師」「リゴレット」等イタリア内で、ハンガリー国立劇場「ファルスタッフ」「チェネレントラ」に出演。新国立劇場「紫苑物語」(世界初演)、藤原歌劇団「夢遊病の女」「ランスへの旅」「ナヴァラの女」(日本初演)に出演。



須藤 慎吾 Shingo Sudo バリトン

国立音楽大学、同大学大学院修了。日伊声楽コンクール第1位ならびに歌曲賞受賞、その他国内外のコンクールに多数入賞。99年に渡伊し研鑽を積む傍ら、イタリア各地の劇場数多く出演。イタリア・フランス作品での歌唱に定評があり、豊かな声量と細やかな舞台表現が高く評価されている。藤原歌劇団や新国立劇場を中心に活動している。「トスカ」スカルピア「椿姫」ジェルモン他「リゴレット」タイトルロール(愛知県芸術劇場)に出演予定。ソニー・ミュージックよりソロCD「アリエ〜オペリア集〜」好評発売中。国立音楽大学講師、藤原歌劇団団員。



大澤 恒夫 Tsuneo Osawa バスバリトン

神奈川大学工学部応用化学科卒業後、小劇場演劇の劇団員として舞台活動を始める。二期会オペラスタジオ修了後、イタリア・バルマへ留学。イタリア・スポレート歌劇場「オベルト・サンボニファーチョ伯爵」に表題オベルト役として、同歌劇場と新国立劇場に出演。これまでに、フィガロの結婚、セビリヤの理髪師、愛の妙薬、ルチア、椿姫、リゴレット、トスカ、蝶々夫人等、イタリアオペラを中心に出演。また東宝ミュージカルやコンサートソリスト等、活動の幅を広げている。NPO法人オペラ普及団体ミャゴラトリーの企画メンバー。



江澤 隆行 Takayuki Ezawa ピアノ

日本大学芸術学部卒業。卒業時に芸術学部賞受賞。東京藝術大学別科修了。笹川日仏財団の助成によりパリ市立シャトレ劇場へ、続いてストラスブルを本拠地とするフランス国立ライン歌劇場で学び、修了後はコレパティトゥアとして指導にあたる傍ら、同劇場のプロクシオンに多数参加。シャトレ劇場およびフランス各地の音楽祭に出演。ヴィルファヴァール音楽祭における武満徹のピアノソロを含む演奏会は現地メディアからも高く評価された。

現在は日本各地において演奏活動を行うと共に、フランスオペラの言語指導も行っている。

宗次ホールのご情報はこちら！
フォローお待ちしております

♪ 随時更新中です



<https://www.facebook.com/munetsuguhall/>



他にも各SNSにて情報発信中！

■交通アクセス
地下鉄栄駅12番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業